

概要

留学先：アメリカ カリフォルニア州 カリフォルニア大学アーバイン校
 期間：2018年9月17日～2019年3月14日
 内容：大学+インターンシップ
 専攻分野：Business Administration（経営学）
 費用：200万円（約100万円 トビタテ負担）



動機

秋田県には多くの問題が存在する



発信力とマネジメント力の必要性

目的

ビジネスを通して地方創生を起こす

- 1. ビジネス基盤の形成（大学）
- 2. 世界のニーズ把握
- 3. 知識のアウトプット（インターン）
- 4. ビジネスマodelの模索

留学内容

2018年9月～12月（大学）

カリフォルニア大学アーバイン校

受講科目：Business Communication、Management、Marketing、Finance、Strategic Planning、Entrepreneur

内容：

- ・授業は教授との相互的なものであり、グループワークやディスカッションなど多く日本のものと違う点も多い
- ・実際の企業のデータをもとにケーススタディをしたり、自分で仮想の企業を設立し、経営戦略を立てるなど実践的な内容であった
- ・各授業の最後には、プレゼンテーション発表があり、座学で得た知識のアウトプットの場も多い

他の学生は台湾、中国、ドイツ、ブラジル、トルコ、カメルーンなどからきており、国際色豊かであった



講義内でのグループ

2019年1月～3月（インターンシップ）

H.I.S. International tours

業務内容：

- ・秋田に関するパッケージツアーの作成や人事業務
- ・人事業務の一環として現地採用のインタビュー、米国企業の保険やサイバーセキュリティに関する研修にも参加

2019年1月～3月

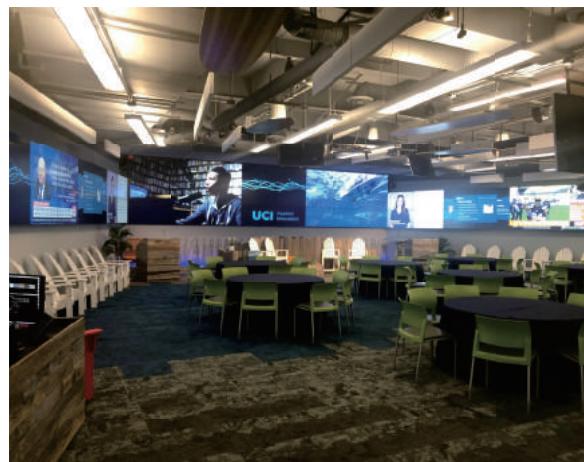
INSOLAR

会社概要：ソーラーに関する米系テック企業
 AIを利用し最適なソーラーパネル、借入先、設置業者を瞬時に顧客に提供するプラットフォームを作成

業務内容：

- ・セールスおよびマーケティング
- ・ターゲティングおよびそのターゲット層へのコンタクト
- ・認知度を上昇させるための戦略づくり

オフィスは他のベンチャー企業との複合施設内にあり、他の会社のビジネスマンと交流することができた



INSOLARのオフィスの一部

突然の留学 in インドネシア・マレーシア

国際資源学部 資源政策コース 佐藤麻由

留学の動機



留学計画

- point1** 奨学金制度の利用
トビタテ！留学JAPAN 第8期
- point2** 語学×交換留学×インターン
→8か月間
- point3** テーマ 「マレー文化圏で天然ガスについて学ぶ！」

留学にかかった総費用 約120万円
(留学中の旅行費・娯楽費なども含む!)
トビタテ！留学JAPANの総支給額 111万円
生活費、渡航費、保険料は十分賄える◎

留学生生活



語学学校で
インドネシア語学習
授業で学んだことを町で実践！

マラヤ大学で学習
平成30年度秋田大学派遣交換留学
プログラムを利用し、1学期間在籍

ヤンマー コタキナバル
R&Cセンターでインターン
バイオディーゼル研究を手伝う

留学を通して

- 行動力がつく
- 適応能力がつく
- 度胸がつく
- 自分の固定概念に気づく
- 物事を俯瞰できるようになる



大学生のうちに経験できた◎
もっと海外（国内も）経験したい
留学はマイナスにはならない！

力ナダ最東端への留学

自己紹介/留学概要

名前：高田 篤希
学部：教育文化学部英語教育コース
年次：4年次
出身：石川県
留学先：メモリアル大学（カナダ・ニューファンドランド）
留学形態：平成29年度秋田大学派遣交換留学（8か月）



留学中

Fall Semester (Grenfell Campus)

- 主にESLの授業を履修
- 英語力を伸ばすとともにNLの文化を体験できるプログラム
- 教員の質が非常に高く学習面、生活面ともにサポート体制充実
- 毎日同じ少人数クラス（10人）で授業を受けるため友達を作りやすい
- 授業の宿題とCAELの勉強で多忙の日々を送る
- 無事CAELで基準のスコアを取得し正規交換留学生となる



Winter Semester (St. John's Campus)

- 正規交換留学生として言語学の授業を2つと英語教育の授業を1つ履修
- たくさんのことより深く学ぶことができる
- 自分以外の受講生はほぼ全員ネイティブ
- この環境でディスカッションやプレゼンをできるのは良い経験
- 分からぬことを先生に質問しにいくとすごく好意的に対応してくれる
- Japanese Culture Clubに毎週参加
- いくつかのアクティビティにも参加



留学後

かかった費用（8か月分）

航空券26万
海外保険16万
寮費43万
授業料(ESL)27万
授業料(秋田大学)56万
食費20万
旅費20万
雑費8万

渡航費補助 ▲10万
(秋田大学みらい創造基金)
計 206万

留学を通しての学び

英語への向き合い方が変わった

留学前：英語話すの怖いな、間違えてたらどうしよう
留学後：自分の言葉で自分の想いを一生懸命伝えようとする姿勢が大事！
→英語って楽しい、自分の可能性を広げてくれる！

多様な価値観や考え方方に触れてきたことによって、自分の価値観や考え方にも幅ができた
→様々なことに寛容になったり、他者を受け入れられるようになったりした

自分に自信がつき、考え方がポジティブになった

言葉の壁や文化の違いを乗り越え長期間カナダで生活
→どんな困難も乗り越えられる自信がつき、物事に対してポジティブになった。
TOEIC900点取得→英語面でも自信がついた。

長期交換留学（中国）

教育文化学部地域文化学科人間文化コース4年 田中千陽

中国を知りたい、外から日本を見たい

常に異文化を感じたい

蘭州大学（中国甘肃省蘭州市）

交換留学2018.3~2019.1

※平成29年度秋田大学学生海外派遣支援事業
(受給額：渡航費としてアジアは4万円)

【留学費用】

中国ビザ費用 約2万3千円

保険料 約26万円

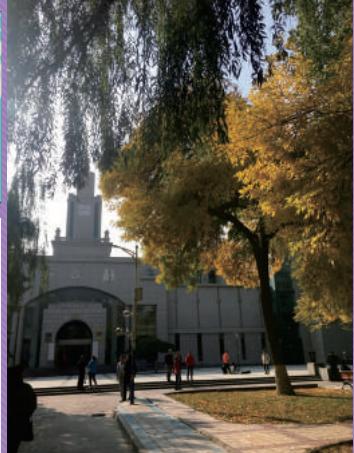
渡航費 往復9~13万円（東京↔蘭州）

現地の生活費 約30万円

（10ヶ月分の寮費、食費込み）

旅行費 約10万円（北京・上海・台湾）

合計 約82万円



留学中頑張ったこと



人脉づくり

中国語を話す機会
をつくりたい
様々な人の考え方
に触れたい

ルームメイト
の友人ととも
日々のコミュニケーション
を大切に



イベントに参加

様々な人と交流したい
日本のことを紹介したい

大学の留学対象
イベントに参加
留学生みんなで
国内旅行へ



各地へ旅行

あらゆる角度から中国を見たい
自分で計画を立て行動したい

以前秋田大学
に留学してい
た中国の友人
と再会



中国は広大！人も十人十色！行く度に変化のある国！

長期留学をしてよかったこと

会話を続ける術を学べる

深みのある会話ができる、使いこなせる語が増える

自分で考えて行動する力を養える

良い意味でマイペースに生きる

感謝の気持ちが育つ

身の回りの人・環境に感謝し接したい



誕生日を祝ってくれたクラスメイト達

海外短期研修 at University of Victoria in Canada

自己紹介/留学概要

- ・名前 菊池真白（秋田出身）
- ・学部/学年 教育文化学部2年
- ・名前 河村 知泰（青森出身）
- ・学部/学年 理工学部2年



留学費用・奨学金

費用：約50万円
奨学金：秋田大学渡航費補助（10万円）
JASSO（8万円）
約50万円-10万円-8万円=約32万円

留学中（ましろ）

留学で取り組んだこと

英語を使って自分から
コミュニケーションをとること

留学中の挑戦や経験
友達とバンクーバーまで旅行に行つたこと
外国人の友達と週末を過ごしたこと



より多くのシチュエーションで英語を使う
機会を経験できる
他の国の文化を知ることができて楽しい

留学後（ましろ）

自分の中の変化や成長
大学で学びたいことやこれからの目標が明確
になった

様々な国の文化
を学びたい

交換留学でカナダ
に行きたい

挑戦しているという喜び
限られた時間での人とのつながり
→出会いの大切さ



私にとっての留学は...
自分を変えてくれるもの

留学前（ましろ）

留学の理由

考え方や自分の将来について視野を広げるため

行く前の私は...

大学生活や将来自分が何をしたいのかもわからない人間
だった

→自分を変える一歩として新しいことにチャレンジしたい
と考えた



留学前（かずやす）

なぜ、留学したいと思った？

海外の文化に興味があったことと、英語の学習を英語で
したかったから。

あなたはどんな人間だった？

受動的な性格で、自分から行動を起こすのが苦手だった。



留学中（かずやす）

留学で取り組んだこと

ホストファミリーと積極的に関わり、
完璧ではない文章でも伝える努力をした



留学中の挑戦や経験

ホストファミリーとキャンプに行き、
そこにいたキャンプ仲間と会話をして
仲良くなった



留学後（かずやす）

自分の中の変化・成長

行動力がついた

将来の夢や
方向性が決まった

私にとっての留学は...
価値観が大きく変わる貴重な体験

理工学部 3 年生 吉田光太郎
国際資源学部 2 年生 伊藤聰子

中国春季研修 嘉興学院

いつ：3月 24 日から 3月 30 日（1週間）

ところ：中国浙江省嘉興 上海と杭州の間

嘉興学院：秋田大学の協定校

参加人数：6人（秋田大学から 4人、東亜大学から 2人）

費用：秋田東京間（26,000円）東京中国（韓国経由）（64,280円）プログラム代（約 20,000円）

内容：キャンパス見学、学生交流、工場・施設見学、上海観光、雑技団鑑賞、伝統工芸体験



キャンパスの一つ



伝統工芸 すいか灯



大学生と交流



さまざまな機器の工場見学



ユニクロの工場見学



VRで未来を体感



上海観光



上海の夜景



水の都 烏鎮

感想

友達 親切で気さく 中国の学生たち

大規模、貴重な体験

街がきれい、中国語

JENESYS 大学生訪韓団

外務省の対日理解促進交流プログラム、日韓文化交流基金が主催

目的：日本のことを紹介する

費用：秋田東京間の移動費（飛行機往復 2 万 6 千円）記念品代、保険料

（基金負担：韓国往復航空運賃、滞在費）

日程（10 日間）

プサン：朝鮮通信使歴史館、臨時首都記念館、文化村、釜山大学校、講演会

テグ：学生交流、講演会、街見学

アンドン：陶山書院、仮面劇、世界遺産河回村

チョンジュ：全州韓屋村、全北大学校

ソウル：大韓民国歴史博物館、自由研修、戦争記念館、東亜日報論説委員講演会、国会議事堂、国会議員講演会、パジュ見学、日本大使館訪問、ソウル大学校



釜山大学校の学生と。



戦争記念館



釜山の文化村



分断の終わり、統一の始まり。



北朝鮮を見る

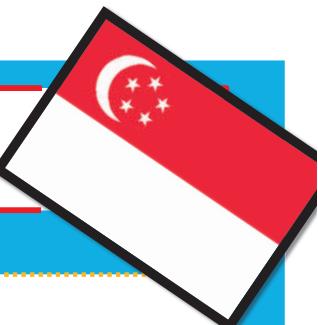


国会議員の方と。

感想

近現代史を通して新たな韓国・本当の韓国を発見、人との出会い

韓国や韓国語をもっと知りたい、もっと伝えたい



自己紹介/留学概要

- ・木内 友麻
- ・教育文化/地域 3年次
- ・異文化交流プログラム
JENESYS 【シンガポール】



留学前

・留学の動機

もともと日本や秋田のことを伝えたいと考えてお
り、JENESYSの情報を聞いたときに、自分のやりた
いことにピッタリだと思ったからです！

・あなたはどんな人間だった？

世界中に友達を作りたい!!と思っていて、多くの言
語や文化に興味がありました。（現在も）

・その他自由に

JENESYS は留学ではなく、公費で行う派遣です。
そのため、サポートが手厚く、観光では足を踏み入
れることが不可能なところも訪れることができるの
で、普段は見れないその国の意外な一面が見れちゃ
うかも??

留学中

・留学で取り組んだこと

JENESYS では事前にプログラムが組んであり、私たちは、シンガポールの大学
(南洋理工大学、シンガポール国際大学)や、日本通運を訪れたり、ホームステイや観
光など様々な体験をすることができました。

・どれくらいのお金がかかるの？

かかる費用は驚きの、お土産代のみです！旅費や食費、宿泊費もすべてJENESYS
側が負担してくれるので、本当にお金がからないです！

留学後

・留学でどのような挑戦、経験をしたのか

シンガポールの大学では、15分ほどの秋田に関するプレゼンと、よさこいの実演
をし、日本文化・秋田を発信しました。また、ホームステイを通してシンガポール
の現地の「暮らし」を経験することができました。

・結果、どのような学びを得たか

シンガポールで大学や博物館、大使館を訪れたことで、シンガポールが現在どの
ような問題に悩まされているのか、またシンガポールの歴史や教育制度、東南アジア
の中での役割や立場、マレー系・中華系・インド系などの人たちが共存する多民族
国家であること、などのことを学ぶことができました。

・あなたにとって留学とは...？

挑戦・成長



JENESYS 2018 東ティモール

片村 新, 今野 咲彩, 小沢 優大, 佐久間 島駿, 高久 晓人, 田中 省吾

JENESYS(対日理解促進交流プログラムとは)

・目的

日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各國・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣し、対日理解の促進、親日派・知日派の発掘、我が国の外交基盤の拡充を目指す。

・対象地域

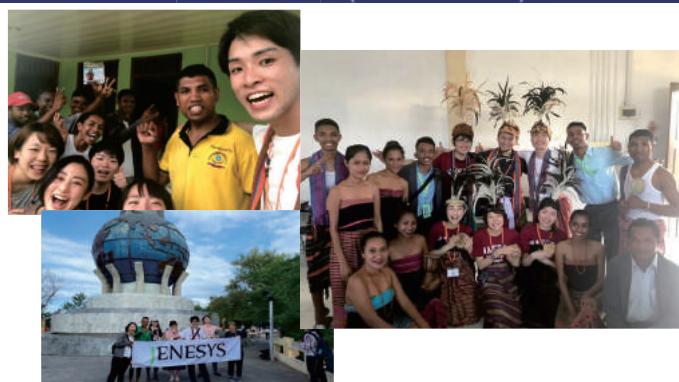
ASEAN諸国(インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア) および東ティモールの11カ国

Japan East Asia Network of
Exchange for Students and Youths
の略称

渡航スケジュール

日時	プログラム内容
2/19	成田空港→ングラ・ライ国際空港(インドネシア・デンパサール)
2/20	ングラ・ライ国際空港→ブレジデント・ニコラ・ロバト国際空港 [表敬訪問]東ティモール外務研修所、日本国大使館、
2/21	[訪問]JICA事務所 [JOCV活動サイト視察]国立ホスピタリティー学校 [NGO訪問]特定非営利活動法人パルシック [視察]レジスタンス博物館
2/22	[学校交流]ディリ工科大学 [視察]ディリ市内視察
2/23	[交流]ホームビジット
2/24	[郊外視察]パルシック関連の工場、マウルウィ要塞跡地、アイテロ刑務所跡地、塩田、Lauhata Beach
2/25	[学校交流]国立東ティモール大学 [ワークショップ]活動報告会準備
2/26	[成果報告会]プレゼンテーション ブレジデント・ニコラ・ロバト国際空港→ングラ・ライ国際空港 ングラ・ライ国際空港→成田空港 成田空港着・解散
2/27	

活動状況(6/22~6/24)



東ティモール基本情報

正式名: 東ティモール民主共和国

The Democratic Republic of Timor-Leste

・面積: 約1万4,900平方キロメートル

・人口: 118.3万人(2015年)

・首都: ディリ

マレー系、中華系等、ポルトガル系を主体とする欧州人及びその混血等

・言語: 国語はテトゥン語及びポルトガル語 実用語にインドネシア語 及び英語

・独立: 2002年にインドネシアから独立



費用

交通費(秋田～成田空港)

¥12000

宿泊費(成田空港)

¥5000

現地(大使館等)や自分へのお土産

¥5000

雑費

¥2000

※基本的な経費(現地での滞在費、航空券代金、海外保険等)はJENESYSが負担

活動状況(6/19~6/21)



活動状況(6/25~6/27)



English Marathon

イングリッシュマラソン

概要

2017年度から英語力向上プログラムとして実施。およそ30名の参加者は、5-6名の班を形成し、本学Self-Access center (ALL ROOMs)を利用して、基礎力を身につけ、夏に短期留学、後期はTOEIC対策を行い、英語総合力を鍛える。各グループの仲間とともに「マラソン」を完走し、長期留学・資源フィールドワーク・就職活動・資格試験へつなげるプログラム。

スケジュール

- 2月 イングリッシュキャンプ
- 4月 オリエンテーション1・活動開始
～ALL ROOMsを週3回以上利用～
- 6月 オリエンテーション2
- 8月 オリエンテーション3
- 9月 短期留学
- 10月 TOEICワークショップ1
- 11月 TOEICワークショップ2
- 12月 TOEIC受験

費用

自己負担は10万円程度(2018年度)

短期留学(2週間)

行先

- 2017, 2018年度
マラヤ大学(マレーシア)
2019年度～
RELC (シンガポール)

9月に2週間海外研修します。現地では朝から晩まで24時間英語に浸り、一気に英語力を伸ばします。

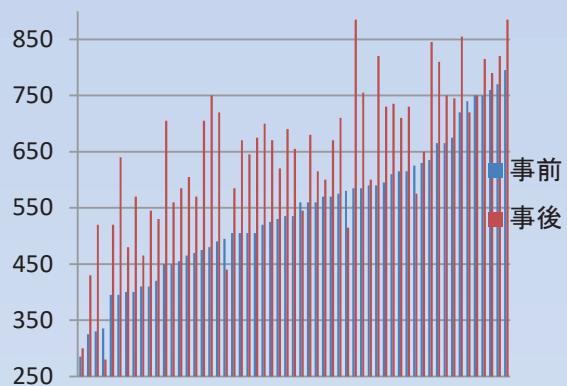
ALL ROOMsとは？

「学内留学」を掲げる、英語が公用語の空間。複数学部の日本人と外国人学生スタッフ・教員が運営。English ラウンジでは英会話、個別学習室では各自の目的にあった学習を行う。English Marathonでは各班に一人以上メンターとして学生スタッフがついている。



過去の結果(TOEIC)

過去二年間は最高で300点の伸び(585→855)を記録。800点超えも複数輩出するだけでなく、平均でもおよそ100点の伸びが見られる。特に450-599点の層の伸びが顕著。



参加者の声



A・T (1期生・理工)
English marathonに参加したことで英語能力を飛躍的に伸ばすことができました。現地の学生との交流もとても思い出に残っています

N・T (1期生・理工)
English Marathonへの参加で、英語への抵抗を完全に払拭することができました。マレーシアでの英語漬けの日々も、大切な思い出です

N・F (2期生・国資)
English MarathonによってTOEICの点数だけでなく、英語を話す度胸がつきました。これは短期留学だけ、1人での学習だけでは身につかない、通年のプログラムだからこそ為せたことだと思います。是非参加して、未知の世界へ一歩踏み出すきっかけを掴んで下さい！



國際交流協定校

〈大学間協定(30カ国・地域60大学)〉

国・地域名	大学名	締結年月日
アジア	インド	インド工科大学マドラス校 VIT大学
	バングラ工科大学	平成24年 6月12日
	トリサッティ大学	平成26年 6月10日
	ガジマダ大学	平成27年 6月 8日
	フレタニマ大学	平成30年 8月16日
	バジジャラン大学	平成21年 3月26日
	国立ハンバット大学校	平成13年 6月 8日
	圓光大学校	平成19年10月12日
	國立江原大学校	平成20年 3月24日
	チカラロンコン大学	平成24年11月28日
アシア	タイ	スラナリーエ科大学 チェンマイ大学
	台湾	龍華科技大学 國立台湾大学
	中国	黒龍江大学 中国医科大学 中南大学 遼寧工程技术大学 大連民族大学 蘭州大学 吉林大学 東北大学 東華大学 華中科技大学同濟医学院 長安大学 北華大学 嘉興学院
	フィリピン	フィリピン大学デリマン校 フィリピン大学マニラ校
	ベトナム	ハノイ工科大学 ハノイ交通・通信大学
	マレーシア	マラヤ大学
	ミャンマー	ヤンゴン大学
	モンゴル	モンゴル科学技術大学 モンゴル国立教育大学 新モンゴル学園
	ケニア	ケニヤッタ大学
	アフリカ	ボツワナ国際科学技術大学 ボツワナ大学
オセアニア	モサンビック	エドゥアルド・モンドラーネ大学 テテ工科大学
	南アフリカ	ヴィッツォワータースランド大学
	オーストラリア	グリフィス大学 カーティン大学
	パプアニューギニア	パブアニューギニア工科大学
北米	アメリカ	セント・クラウド州立大学
中南米	カナダ	ニューファンドランズメモリアル大学
チリ	チリ	サンチャゴ大学
中東	イスラエル	ハイファ大学
ヨーロッパ (NIS諸国を含む)	アラブ首長国連邦	アラブ首長国連邦大学
	スウェーデン	ルレオ工科大学
	イタリア	カリアリ大学 フェラーラ大学
	カザフスタン	カザフスタン工科大学
	スウェーデン	ルレオ工科大学
	ドイツ	フライブルク工科大学
	フィンランド	ラップラン応用科学大学
	ペルルーシ	ペラルーシ医科大学
	ポーランド	クラクフ経済大学
	ルーマニア	カステル大学

〈部局間協定(16カ国・地域28学部等)〉

部局名	国・地域名	大学・学部等名	協定締結年月日
国際資源学 研究科	アジア インドネシア	ハサヌ丁イン大学工学部	平成26年 4月23日
		バジャラーン大学地質学部	平成30年10月 1日
		タイ カセサート大学理学部	令和元年 5月29日
	中東 スーダン	紅海大学地球科学部及び海洋漁業学部	平成28年12月10日
		セルビア ペオグラード大学工学部 ポール校	平成29年 3月 3日
	ヨーロッパ ポーランド	AGH科学大学	平成30年 9月19日
教育文化 学部		韓国 大韓民国聖公会大学校韓国語学堂	平成31年 1月28日
医学系 研究科	アジア 中国	中国衛生部北京医院	平成 7年11月14日
		シンガポール 国立大学看護学部	平成28年 3月 7日
		タイ スラナリーエクスカレント大学看護学部	令和元年 5月10日
	ヨーロッパ フランス	リール大学医学部	平成23年 4月13日
		ハワイ大学 ジョン・A・バーンズ医学大学院	平成28年 8月 4日
	北米 アメリカ	テキサス大学 M.D.アンダーソンがんセンター	平成29年 7月31日
医学部 附属病院	アジア 中国	蘭州大学附属第一病院	平成26年 6月12日
理工学 研究科	アジア 台湾	明新科技大学工学院	平成22年 4月12日
		国立彰化師範大学・理学院	平成29年12月21日
		清华大学精密儀器与機械学系	平成19年 3月 1日
		清华大学化学系	平成20年 1月17日
		同濟大学材料科学与工程学院	平成22年 5月24日
		同濟大学上海市金属功能材料開発応用重点实验室	平成22年 5月24日
		インド科学技術研究評議会附属・国立科学技術研究所	平成28年 8月 5日
	アフリカ ザンビア	ザンビア大学鉱山学部	平成15年 1月20日
		ザンビア大学工学部	平成15年 3月12日
		チュニジア スファックス大学工学部	平成15年12月18日
オセアニア	ニュージーランド	オークランド工科大学デザイン創造学部	平成24年11月27日
北米	アメリカ	モンタナ銅物理工科大学	昭和57年 6月24日
ヨーロッパ	ハンガリー	デブレツエン大学情報学部	令和元年 5月30日
地方創生 センター	アジア 中国	同濟大学上海市金属功能材料開発応用重点实验室	平成23年 9月 2日

